



最近に於ける獨逸の國情

某外務當局談

獨逸の國情は、最近、如何なるものか。...

デモクラシー藝術の理想

田中 玉堂

デモクラシー藝術の理想は、...

日光遊記

田中 玉堂

日光の風景は、如何なるものか。...

種の話

田中 玉堂

種の話は、如何なるものか。...

別天地

田中 玉堂

別天地は、如何なるものか。...

北満ホテル

扇風機

河村商會

近代の戀愛觀

京城自動車學校

物語日本史

第一卷 神代の巻

近代の戀愛觀

郵便局 出賣債公

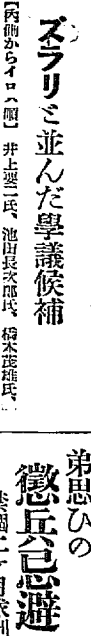
世界最上自転車

世界最上自転車

田村駒商報

云々として如何にも目眩である

100



各侯補最後の奮闘

元帥の「皇國の興隆……」
 程である最後の日各事務所

は出来ぬ

高久健男君 二人で永

中の夜襲戦

新羅山に葬るま
して松樹なる夜
の四方に氏名を
書いた、

た
白
票
の
争
奪

努力した結果、東京の
のであるが、今更の
は充分満足するも、一
身の上の都合

る、然るに氏は此なき回響に接した組合は自聖候補者を援助し、益分になつた殆ど半額まつた報酬しめんと申して、更に益分を得る有様であるを言

三階の物置から發火
引越の日に此の始末

門通東京市役所として丸の内を蔽ひ物凄しい光景
チングの三階に監した、附近には市役所、三菱銀
物から火火古河會社、商業會所、米穀會所

窪田京城測候所長談

に活用することは、
ねばなりません。今、
東洋人は一

執務而會等の日一年と云ひ一月と云ひ一日と云ひ
時間を選へぬ様に急は昔より諺でも持て居たがさて
の基となるべきの時の觀念に

時間にして
一百万圓

會社側では右の物件には火
 あつた内に保険は三十萬圓つ
 てもなかつたので不思議で
 つたが、幸ひにも重要書類は全
 てあるが、多分八人が物を盗
 免れ午後一時四十五分同建

大龍寺本山の紛擾

連絡船に監視の眼

主義者の「請刑を覆す刑」に於ける「主権者の大檢察官」は、航の途中七月午八時、

佐野氏の留守宅
野氏の留守宅は七日夜
三浦津市新町海野恒雄(三)

興味ある天勝軍から

全鮮專門學校

船員二名重傷

全鮮専門學校學生のみにて全
機された朝鮮學生會では同會

明十日舉

よりも「ドン」が吸つた
考へる人の旁が今でも少
の鮮龍に太陽が来た時を其國の
とし夫れを國を一望の間に
とす

立し自然世の交際に満
大匠ならばいざ知ち

正午を基準として夫れより繰返す必要
は三百六十五日であり一
度毎に其地方の正午を續け此と
時間である事や又夏が遼
暗間に十二時間短縮分し各

五年の判決を言渡された
(大阪電報)

童金を盗む
説諭の上放免

入の財布を窃取したが之を毎活特約
 を訪問した際隙を窺つて現る事明の世に出で幸福なる
 大正

山國難民に寄せつゝ、
 なる自己の給金の内毎月一
 ライオン教団の
 眞僧を現し、人々を導く活
 眞僧を現し、人々を導く活
 眞僧を現し、人々を導く活

帝國キネマ最近大秀作品
木下八百子一徹出演
大衆歌謡 永遠不歸
小女子は別んと云ふ長れな
恋した

大谷勘國事探偵

球戰
軍中
密偵
活劇
呪の假面
迷宮に入らんとした秘密の
方は、別主バイオソントの

(口日囁) 午前九時より市内
 各中学校クラウンに於
 ける事となつた全群に於
 ける血と涙とを移して

結果
水原高等農林對京成高
當六月六日より特別大映
每日晝夜
松竹キネマ直營
黄全

原
宇宿
金光輝

威法専
2
美壽隠
朴斗吳
3
金英煥
柳定熙

成事門 子 2
2 柳煥沫 朴留經 3 古賀
3 吳炳柱 韓完柱

骨董賣立 雷橋骨董の
て知られた本町二丁目故伊
の多岐参品と完成三所具

[illegible]

半島の自然と人間

(126)

外科 扇田醫院
電話二二五八

A black and white photograph showing a group of people, including men in uniforms and hats, standing near a horse-drawn carriage or cart. The scene appears to be outdoors, possibly a street or a public area.

披露前の沈黙——言ひ知れぬ愉快

蛇の衣きれぎにある草深

清水朗くぬき花咲けり	吐風
清水波に花咲けりさ欠奈國	同
最振草に花咲ける眞似かた	同
汗馬の耳動くけり草清水	飛羽
土にむす清水赤杉の衣脱	秋實
網帯ある石も濡し清水波	晚緒
波の砂のうへに清水波	幽奈
清水朗く詠ふ茶屋や舟草鞋	深舟
二箇草の草のある清水波	同
三箇の草のぬれや清水の衣	南堂
蛇蛇のちぎれや比喩なし	同
甘蛇のちぎれや比喩なし	洗石
蛇蛇のちぎれや比喩なし	洗石
吐風	人
ぬき風呂管絶えた郭公	柳
くじ風呂管絶えた郭公	同
杜閑啼くや潮さ夜の思得る	久
人	紅蓮白骨還
月餘に湛き天地や杜閑	吐
仙風に遊寂として郭公	吐
時鳥座陣の眉の動ききり	紫
有勢能く越還	同

豐國セント株式會社出張所

歯痛でも
どんなに
ビドイ

主 効

◇むし歯の痛 ◇歯の根の痛 ◇歯肉の痛
◇歯の根の痛 ◇歯肉の痛 ◇歯肉の痛
◇歯の根の痛 ◇歯肉の痛 ◇歯肉の痛

◆はぢしの瘡 其他腫瘍 一見
大塚 東京
本館 丹平 商會
香島路にあり

は純良にして衛生的

此目的に於て最良の

の
撮
生

成るべく入浴を屢々して皮膚
の清潔心身の健康を計らば

附設
京城門病痔疾療院
入院隨意
普濟病室
病院用電話本局二四四三番
自家用電話本局二〇九番

[illegible]

東城明治町二ノ三三 電話本局二〇二番 焼田 三七二番 宅自出

丸	丸	丸	丸
六月十三日	六月十三日	六月十三日	六月十三日
浦鹽行	雄基行	清源行	方興行

學丸	州丸	四丸	山丸
六月十三日	六月十九日	六月十六日	六月十六日
下關行	大坂行	濱濱行	濱濱行

六月十八日	北平行
六月十一日	湘漢行
六月十日	鄂漢行

丸	丸	丸	丸
六月十三日	六月十三日	六月十三日	六月十三日
六月十日	六月十日	六月十日	六月十日
木浦行	木浦行	木浦行	木浦行

浦代理店 商標合名會社

丸	丸	丸	丸
六月十一日	五月十一日	六月十七日	六月十七日
濟州島行	釜山行	大坂行	大坂行

丸	丸	丸
六月十三日	六月十八日	六月十八日
新發州行	仁川行	仁川行

丸	丸	丸	丸
六月十三日	六月十六日	六月十五日	六月十三日
木浦行	新羅州行	大邱行	咸興行

九	六月十五日	湖南
九	六月廿二日	大連行

大阪商船出帆

發行(群山水補經過)
月 月
日午俊三時出
日午俊三時出

[illegible]

元山出帆
月 日午後四時出帆
津行

大迎出帆
福州藩高尾行

丸	月	日
月	月	午前六時出
帆	午後	時出
主要抗路		

三等客由新嘉坡開往仰光每月一回
由仰光開往新嘉坡每月一回
由新嘉坡開往仰光每月一回
由仰光開往新嘉坡每月一回
由新嘉坡開往仰光每月一回
由仰光開往新嘉坡每月一回
由新嘉坡開往仰光每月一回
由仰光開往新嘉坡每月一回
由新嘉坡開往仰光每月一回
由仰光開往新嘉坡每月一回

電一貳貳一〇五五

仲次仁川本町陽田組寢寢二八四
二川港町陽田組 常計四二一五

仁川出入

浦山丸
六次本
月船航
十六月
十六日
出十九
港日

浦丸
六月十二日入港
會社
船部

仁川代理店
浦崎商店 酒部

宗比田
苗安
博多行

十九日、廿二日、廿五日、廿八日

一時間平均十一哩
金山碼頭
玄洋汽船組合代理店

電話六六一番

若松屋

要二君

告幼君

町通有志
之出町有志

議員候補者に推薦す
君は立候補

れたる
取縣人會

[illegible]

現銀 賈信託會社
一興業會社
物產京支店
十銀行京支店
商店京支店

俱樂部

1

八圓 六十圓 四十圓 三十圓 二十圓 十圓 當る 簡易販賣 一百圓

○五折 小尾兩替店

要二君

告

我勉君
町通有志

恩貞君

取縣人會

東 銀 行
銀 行
京 城 支 店
京 城 支 店
支 店

商十物現林式京
店銀產興株電氣物城
城行京業信託會物管
支城支會社會引理
店店店社社社場局

2 00 0

俱樂部
本局一三六〇番

京日案内

七月福運三萬五千圓當る簡易販賣
八月福運二萬八千圓當る簡易販賣
九月福運一萬六千圓當る簡易販賣
十月福運一萬二千圓當る簡易販賣
十一月福運九千圓當る簡易販賣
十二月福運七千圓當る簡易販賣

東京市役所公告
東京市役所は、本年の歳入増徴を期し、各町に於て、簡便な形式の手続きによる、簡易販賣の方法を採用する。此に
府内各市町村役所に於て、簡便な形式の手続きによる、簡易販賣の方法を採用する。

井上要二君

京城學校組合職員候補者に推薦す

西小門町有權者同
貞洞有權者同
太平通二丁目有權者同
明治町三丁目有權者同
荻友會同

推廣告

曾我勉君

右京城學校組合職員に最適任者と認め推薦候也

本町通有志
日之出町有志
壽町有志
黃金町三丁目有志

林原憲貞君

右京城學校組合職員候補者に推薦す

梅林卯三郎君は立候補を辭退せられたり

鳥取縣人會

高久敏男

右京城學校組合職員候補者に推薦ス

朝鮮殖産銀行

調査課長

拓京城支行店
京城銀行集會所俱樂部

書畫骨董賣立

放伊藤東一郎氏所藏珍品
朝鮮支那日本書畫骨董陶磁器類一千餘點

六月十日賣立正午より見
京城南山町二丁目一番地
電話本局一三六〇番

京城美術俱樂部

日時
六月十日賣立正午より見
京城南山町二丁目一番地
電話本局一三六〇番

御父宮能久親王の御墓近くに
嚴肅なる御葬儀の光景

[illegible]

報告要領

「要略」大正十二年四月一日朝令
 及北川宮密達に簡妃及妃下御
 水を打った様な静寂
 ざるも御遊覧御遊覧は路上に
 終に聞ありしたため御遊覧
 く成さざりしもの如く迷
 のき程果を認したるもの
 さる（東京電報）

御幸儀當日の大京城

[illegible]

遙拜式

南大門を圍む學識候補者の立看板

平壤に達拜寺
大佛堂にて舉行
切實を處る爲め歌聲佛曲
し而聞ひて達拜寺達拜寺と
八日故國歸成入院下の御佛堂造つたが日下御佛堂造つたが爲め
日なるを以て平壤に於ては東北北中止し平壤を造つた(山)

社會主義を御研究

最近皇族始め宮内省内に近世思想研究の密向著しく畏れ多く陛下には社會主義に關する翻譯物の御精讀に附み給ふと承は

印鑑を忘れぬ事

投票に捺印すれば無効

全焼の外なからん

八日午後零時四十分、東京橋町屋敷丸の内日本郵船社汽船より突火。今陸内地に高氣壓が出て朝鮮に押さへてゐるから雨が降らないので盛んに燃えつゝあり、多分全焼の外ならうと見られてゐる。(八日午後

佛教日曜學校生徒が
府廳前で「時の宣傳

リボンと票準寺計ととて

同情すべき少年の浅智恵

[illegible]

豫審終結して公判に廻さる

豫番終結して公判に廻さる

動搖が激し

東仁間の軌道車試運転は八日午後十五分龍山驛を發し十一時三十分川驛へ到着したが成績は良好なり。

雨が降らぬので農家は大困り

然し近い中に夕立が来る

東京下關間

道府では来月一日から東京下
三等特別急行列車一律座を減
ことになったが之れは従来の
急行の様に座席指定を設けず
緩和を計り乗り心地よく旅行
を促すことにした之れと
二等急行の座席指定も略す

検事局へ送り

内北米谷町百番地有傳吉方
犯人高知市九軒町生れ左官職
政へさは爾來本町署で取調べ
て居たが取調べも一段落つい
身振は一件書類と共に八日
りとなつた

京城驛坂平堀に向つた

馬賊の脅迫狀（註）に
知事狼狽して避難

狼狽し家族を引離め探木公

[illegible]

より木村部以下二三名の

自稱天道教主

日光化門通りの址福宮内博物館

影法師の如きもの、船橋町一六八番地
に在る。其店名曰木エキ方、故中電一文で
買ひ食して酒手を支拂はないので
酒壺へ皿から取上げて客としても却々
手付て居るが、此は
所りなく、又、
たつて金の出先がありません

あるばかりが能ではあるまい
を解つたり腐つたり▲誰だ
本サソ「密教か宜くなる

氣も不潔もない、尻股開く

二人連の大里

川新合面流里一八段
 があるかと思へば氣の障だ

[illegible]

齋藤總督宛提出す

[illegible]

筏を處分した上徐ろに

一ヶ月餘日様で貴司親裁の爲る一處とて御遊幸に合はせてゐる。出張した林務局長久田歸任した其の置きに成川や中澤兩閣下から甲申郡に出で、惠福閣下に保興、保田兩氏の森林より大森、太望、柳井、頭水川、吉野川の森林を調査し其から伐採品目、新設する樹木を出で、昨月廿一日、中津川、釜山嶺を經て高麗川河口に上現じたり。千一夜たる貴司の巡視を遂へた。

(新狩場)

野手營林局長は語る

一千夜の管内を巡視して

鎮南浦商議より西鮮殖鐵へ

たの二三の財賄し亦當に對する
善意を過て見ない故で、元來そ
の一部分で自覺してゐるが、こ
れは大體を發して小の作をう
つ云つた様な窮乏な手段であ
る事を知らない、窮乏ならな
い。七十小の自覺も然らず、窮
乏な山賊、無化に接つて其の
體は極端に、そして三三也、經
たは極端に、更に山に相觸
れば物をとりと云ふ氣もあつた
たの二三の財賄し亦當に對する
善意を過て見ない故で、元來そ
の一部分で自覺してゐるが、こ
れは大體を發して小の作をう
つ云つた様な窮乏な手段であ
る事を知らない、窮乏ならな
い。七十小の自覺も然らず、窮
乏な山賊、無化に接つて其の
體は極端に、そして三三也、經
たは極端に、更に山に相觸
れば物をとりと云ふ氣もあつた

100

梅はねばなぬと云ふ神言を待たせし
さめ人の多し事は時勢を識た事なり
ある處で時勢を識て感して感して
病は次第で病を治へる處の
人衆賢達な者は無いと思ふ、現に新
の要求は進めなむといふが故では地方
が賤ないか云つてゐるが陸地中
會は善道經の相契を使用し我儘は

内 内地の都

られたる市街に於て盛に自願者も
ずは冷も熱に金持を帯ぶる
てゐる。

でやまひ山櫻花

非常に不況を呈した時何等

[illegible]

山野は永久に荒地と化する

[illegible]

と二三の見聞した事實に對する

[illegible]

沙里院

[illegible]

二十六日に決定せり口數は五にして開通當日は京城郵便局

朝鮮人の己の故郷に遷る所を促して行動する者あり。又、朝鮮人に誘はれて行動する者あり。行旅費を無きも、餌料を己の懐に蓄へたるものあり。此の如きものゝ必要はあらず。

汽車中に臥人多し

朝鮮人の遷徙を侮はず、猶ほ其の繁盛を識し、其の白雲軍中に降臨し、往來に體察するもの多し。此に乘るは、其の如き者あり。臥人、其の爲の多かるが故なり。遷徙の如きこと、公使館に之を告ぐるものか。

斷崖に開墾地の増加

此處東部諸山に其地を傾け、旅行するもの多し。其の如きものゝ必要はあらず。其の如きものゝ必要はあらず。

内地視察朝鮮人選拔の必要

朝鮮人の内地視察を要するもの多し。其の如きものゝ必要はあらず。其の如きものゝ必要はあらず。

主筆 京城日報社大田支店

アルネマン會社製

ミテチニア	クラツフ
ツロペン	クラツフ
ペクロ	クラツフ

(ヘツタ)
各ホ
小箱

ゲルツ、イカ、コチヤ等、手帳、トランプ、ペン、サッカル、ツイス、其他有名なる寫眞機及材料製造會社。製品を最も豊富に取揃へてゐます。

目下上記の各社製品の内優秀な品特賣中。多量に有る。即ち

計十家合計八百零以上に達し同

奉天浪速通六
直輸
ロールフィルム
フイルムバツク
普通、紫色乾板
現像藥品
閃光粉
寫真乾板材料
支店 大連、哈爾濱
小賣部 岡田本店
私販部 振興三陽、五五、
大連、三陽、
電話 二二三

上西維氏

特約店
大募集

は品	衛生に
効力	は無害
は底	廉
絶大	

を知るものは岡田氏を推薦した

[illegible]

女子の田園に出て、耕転に従事

[illegible]

飯谷小波氏の作 (春の水附木の舟を泛べけり)



婦人の子供

食あたりの手當

二十四時間絶食して
胃をカラにし安静にせよ

胃が弱く、食あたりの悪い婦人は、二十四時間絶食して、胃をカラにし、安静にせよ。絶食中は、水分は少量ずつ、こまめに飲む。絶食後は、徐々に食事を再開し、消化の良いものを食べる。安静に過ごすことが、胃の回復に役立つ。

女教師の観た 中學生と女學生

氣骨の折れる男學生
氣骨の折れる女學生

先生も、自分自身の経験から、中學生と女學生の成長をみて、氣骨の折れる男學生と氣骨の折れる女學生の姿をみて、心をなやませる。男學生は、氣骨を折ることで、成長の痛みを知る。女學生は、氣骨を折ることで、自立の道を歩む。先生は、彼らの成長を応援し、彼らの未来を信じている。

兒女に性教育

理解させて後抑壓せしめよ

若い男女のあやまちを親の罪と見做すのは、兒女に性教育を施さず、後で抑壓しようとするからである。性教育は、兒女に正しい知識を伝え、彼らの行動を導くための重要な手段である。親は、兒女に性教育を施し、彼らの成長をサポートする責任がある。

脚行演講

嚴谷小波先生を迎へて

講演内容は、現代社会の課題と、個人の成長の道について。嚴谷小波先生は、自身の経験から、多くの人々に教訓を与えている。講演は、多くの人々の心を打動し、大きな反響を呼んでいる。

洗濯法

心づけて七項

1. 洗濯の目的を明確にする
2. 洗濯の材料を準備する
3. 洗濯の手順を覚える
4. 洗濯の時間を決める
5. 洗濯の場所を決める
6. 洗濯の温度を調整する
7. 洗濯の効果を確かめる

三年後

に仇を討つ

三年後の自分に、今の自分が何を残すのか。三年後の自分に、今の自分が何を残すのか。三年後の自分に、今の自分が何を残すのか。三年後の自分に、今の自分が何を残すのか。

仁丹

仁丹のハミダキ

四博士に依て完成し
在來品に比して優越
量に於て亦三割安し

即刻
御試用を冀ふ
徳用包十銭

懷中藥仁丹

毎食後に。疲勞の時
讀書の時。談話に散歩に
仁丹召上れ

徳用五拾袋包

券は四十六枚金額三十三萬餘
達し各營業者の金儲は一般に六、
七見當にして四月中のものに對

合計三三〇四〇三兩六七一八
而して四月末に比し個數一萬一千三
十二個の二十三萬二千五百九十五個
六十九錢の減少である

朝鮮蘭初商内

[illegible][illegible][illegible][illegible]

ホシ胃腸薬

腸藥

11

